

新型コロナワクチン接種実技研修



令和3年12月18日（土）に京都田辺中央病院において、新型コロナワクチン接種実技研修会を開催いたしました。主催は京臨技で京都府の委託事業として実施したものです。本研修は厚労省発出の事務連絡「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射の臨床検査技師、救急救命士による実施のための研修について」に基づき開催した研修会で、基礎研修（座学）修了者に対して連絡を行い、応募があった臨床検査技師43名、救急救命士17名の60名を対象としました。

藤田直久先生（京都保健環境研究所所長）の挨拶に続いて、木村亮之先生（京都田辺中央病院副院長）の講義、そのあと4人1グループに分かれて、打ち手と被検者を交代して各人5回の実技実習を行います。実技実習では、本番さながらにアレルギーやアナフィラキシーショックの既往歴確認、針を挿入した時点での痛みやしびれの確認、接種終了後に別室で15分間の安静指示などを行います。全員の実技実習が終了したあと、京臨技会長として挨拶、修了証交付を行い研修会終了となります。

実際に参加者として研修を経験すると、ワクチン接種をはじめの準備から接種後の経過観察まで細かな注意事項を把握しておくことの必要性を再確認しました。簡単そうに見えるワクチン接種の手技ですが、『百聞は一見に如かず』ということわざがある通り、まずは実際に自分やってみることがいかに重要であることを再確認できた研修会でした。

（一社）京都府臨床検査技師会会長 白波瀬浩幸

新型コロナ検体採取に臨床検査技師が出務しました

【出務にいたる経緯】 2021年8月30日付で京都府健康福祉部健康対策課より京臨技に対して「新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者検体採取業務への協力依頼について」として支援・協力の依頼がありました。京都府の新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者の検体採取はすべて保健所長等の医師等が実施していますが人員不足となっており、感染が拡大している地域における検体採取業務について臨床検査技師に協力を求められた形となります。

協力内容や方法について京都府と協議を重ね、グループホームへの検体採取について乙訓保健所から協力依頼があり、2名の技師が10月18日に出務しました。

新型コロナ検体採取をおこなってみて

【実務】 唾液を自分で採取できる人は提出。本人確認の名簿チェックがダブル確認です。その検体は密閉された袋に清潔な管理で保管 {低温度です} 唾液採取が無理な方は鼻腔より検体採取です。スムーズにと思われそうですが、対象の人が施設特有の身体障害や認知症の方、でも、慣れてくれば上手に検体処理の段取りもスタッフさんも協力して頂き終了できました。保健所だけの対応はTVで見る事柄よりも切実に苦労があります。本日の検体数は60件でした。1階での検体採取が主なる事でしたが、3階も2階も同様に皆さんに集まって頂き、無理な方は部室での検体採取をしました。

【反省】 予防医学や地域の保健所の重要性を感じました。どの医療関係でも真摯に取り組んで居られます。私達、臨床検査技師が出来る事はまだまだあります。臨床検査技師として多くの機会があるのならば、新しい世界に挑戦して下さい。・・・シニアより！！

人生100年・・・臨床検査技師も頑張りましょう！！
この機会を頂き感謝です。

芦田 英行



京都府保健医療功労者等表彰にて表彰されました

この度、令和3年度京都府保健医療功労者賞を受賞いたしました。身に余る光栄と喜んでおります。推薦いただきました白波瀬会長をはじめ理事の皆様方には暑く御礼申し上げます。技師会での活動は理事、研究班ともに主に精度管理を担当させていただきました。何も分からずにやり始め、紆余曲折ありましたが仲間ができて横のつながりが出来たのは今までの財産となりました。職能団体である技師会には技師全員が入会し、臨床検査技師の地位向上が成される事を祈っています。京都府臨床検査技師会のますますの発展と皆様がたのご活躍、ご健康を願っています。

京都桂病院 豊山浩祥



京都府保健医療功労者表彰とは「保健医療、救急医療及び看護業務に関し、その功績が特に顕著である個人又は団体を顕彰することによって、その努力と功績をたたえるとともに、関係者の意識の高揚を図り、もって保健医療、救急医療及び看護行政の推進に資する」ため表彰するものです。本年は、11月8日 ルビノ京都堀川で開催されました。

世界糖尿病デー・糖尿病予防啓発活動

「FMまいづる」に出演しました。

11月5日、舞鶴市のコミュニティ放送局「FMまいづる」に出演しました。

世界糖尿病デー（11月14日）に合わせた糖尿病予防啓発のため、舞鶴市（保健センター）からラジオ出演の依頼がありました。「ななこちゃったラジオ」という舞鶴地域の話者をじっくりトークする生番組のゲストとして、舞鶴保健センターの迫田真由美さんと一緒に出演しました。

臨床検査技師の仕事、糖尿病の検査と合併症、新型コロナウイルスなどの感染症について話しました。また、「臨床検査技師AtoZ」のPRもたっぷり話してきました。パーソナリティの永野由香さんの明るい声と巧みなリードで、緊張することなく、楽しくトークができました。



綾部市立病院 滝本 寿史

編集後記

学会や研修会のweb配信に慣れたこの頃。特にオンデマンド視聴は業務都合で学会に参加できなかったり、聞きたい講演が重なっていた場合等、後で視聴できるため便利な機能ですね。しかし「何時でも視聴できる」と油断すると他の事で後回しになり視聴し忘れた事もしばしば。やっぱり現地で集中して講演を聞いて、その内容で意見交換会をしたいですね。そろそろ現地参加したいなあ（あ）

発行所 (一社)京都府臨床検査技師会
発行責任者・編集者：白波瀬 浩幸
編集者：齊藤祐巳子 相田幸雄 佐藤晴久 山田雅 増田健太
〒606-8155京都市上京区千本竹屋町東入ル主税町910番地
TEL 080-5197-0196

<https://kamt.jp>

会員専用ページ：ID kamt PW kyoringi

ご意見等は、京臨技ホームページのトップページ最下部「お問合せフォーム」ボタンから